

「新・文明の旅」講義スタート

のは、経営学部10人、外国語学部20人、短期大学3人、

ここで学ぶ

文京学院創立100周年に向けて、本学学生が東ヨーロッパから東アジアまでの国々の大学を訪問し、文化交流を図る全学共通科目「新・文明の旅」プログラムの講義が、4月26日からスタートしました。

人間学部14人、保健医療技術学部8人の計55人の学生たち。本郷・ふじみ野両キャンパスをテレビ会議システムで結び、学びを深めていきます。



「新・文明の旅」ユーラシア大陸へ」をテーマに島田燿子学園長／理事長が、ユーラシア地域の現況、文明、宗教などについて解説しました。

第3回・第4回（5月17日2コマ連続）は、本学人間学部の関根謙司教授が「ユーラシア概況―主としてトルコをめぐるバルカン諸国」をテーマに、ユーラシアの民族と国家などを講義した。第5回（5月24日）は、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士課程のレヴェント・シナン氏が、トルコの文化や簡単なトルコ語などについて、ユーモアを交えて教授しました。

第6回（5月31日）は、駐日トルコ共和国大使館のアイシエギル・アトマジャ文化広報参事が「トルコ概況・トルコの基本情報」をテーマに講義を担当。毎回夜8時近くまでの講義にも関わらず、55人の学生たちは熱心に聴講し、ノートを取りました。

第1回（4月26日）は、「新・文明の旅を知る」をテーマに、島田昌和副理事長／教授、野口由雄実行委員長／教授、リーア・ギルナー准教授が旅への心構えや、事前視察で訪れた訪問予定大学などについて話しました。

第2回（5月10日）は、